

所管事務調査結果報告

9月定例会において、7月12日・13日に実施した所管事務調査結果の報告が両常任委員長からありました。

産業建設常任委員会



大原委員長

総務文教常任委員会



原田委員長

革実施計画の見直しにおいても重要な要素となることを考慮し、ある程度の価値を試算し、計画的に管理することが望られます。

①町有林管理等について

町有林野の管理経営については、滝上町有林管理条例（以下、「条例」という。）の規定に基づき、行っているところであります。が、町有林野の処分において、事務手続きの一部に条例の規定と乖離が見られることから、早期の改善が求められます。

また、町有林管理（財産管理）について上町有財産条例の規定に基づき管理しているところであります。立木売り払い収入は、町の大きな自主財源であり、第6期総合計画の策定及び行財政改

②町営住宅（公営住宅）及び上下水道使用料滞納状況について

昨年度の当該所管事務調査においても報告のとおり、公営住宅及び上下水道使用料の収納状況のうち過年度滞納については、当該年度においても改善が見られないことから、町税等も含めた徴収対策方法等を協議する「債権徴収対策会議」の実施等の早急な対応を求めます。

①まちづくり地区担当員活動状況について

まちづくり地区担当員については「滝上町まちづくり地区担当制実施要綱」の規定に基づき各地区に配属され、町民と行政との協働のまちづくりを進めるため、町内会の自主的活動の支援及び協力、町内会と行政の連絡調整等の職務にあたつており、それに伴い、当然一般会計（医業外収益）からの繰り出しが増えます。

②町立病院等の経営内容等について

近年、入院・外来とともに患者数の減少により、収入も減少の一途を辿つており、それに伴い、当直しが喫緊の課題となります。また、保健・福祉・医療・その多方面な

なっていますが、地区によつては年間の活動が全くないところが散見され、制度の目的が達成されていません。また、今後の災害等の発生時においても、当然ながら地区と地区担当員が関わりを持つこととなることが想定される中、面識がないような状況においては、円滑に事が進まないことが想定さ



老朽化著しい町立病院、小屋裏の雨漏りをバケツで受けている

れます。

そのため、今後の防災対策を推進するうえでも、地区担当制の在り方を見直すとともに、更なる少子高齢化が進むことが見

れています。
現在、町では第6期総合計画の策定及び行財政改革実施計画の見直しに取り組んでいるところ

であります。が、当然このことについても議論とされていますが、このことについても議論とされることになります。

なっていることが容易に見て取れます。が、町の今後は財政面からも、施設の整備を含めた、病院の体制の整備・抜本的な見直しが喫緊の課題となります。また、保健・福祉・医療・その多方面な

なっていますが、地区によつては年間の活動が全くないところが散見され、制度の目的が達成されていません。また、今後の災害等の発生時においても、当然ながら地区と地区担当員が関わりを持つこととなることが想定される中、面識がないような状況においては、円滑に事が進まないことが想定さ